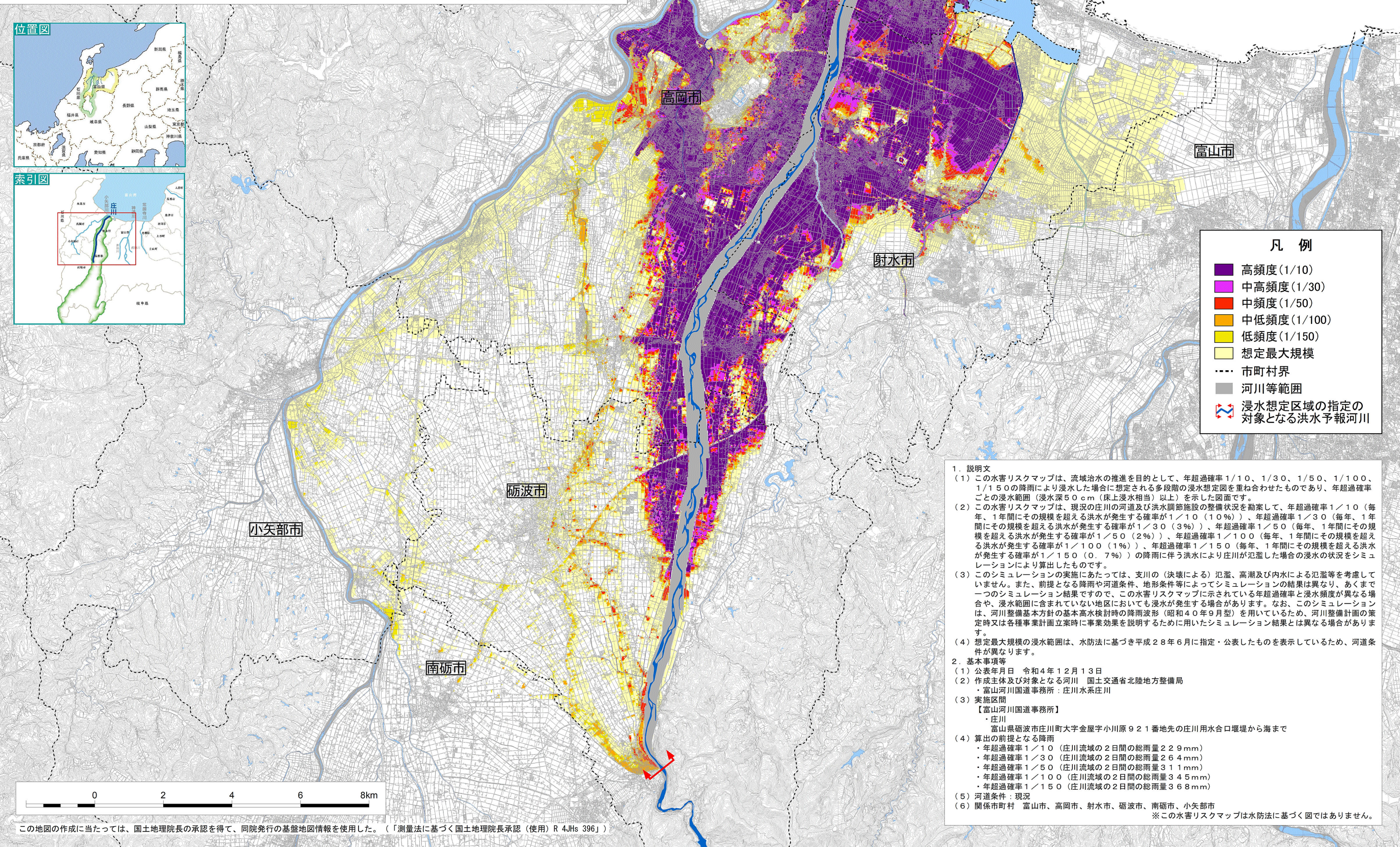
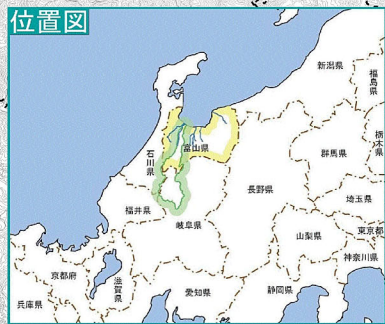
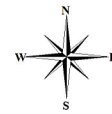


# 庄川水系 国管理河川からの氾濫を想定した 水害リスクマップ 【現況河道】

暫定版

浸水深50cm(床上浸水相当)以上の  
浸水が想定される範囲を表示



■	高頻度(1/10)
■	中高頻度(1/30)
■	中頻度(1/50)
■	中低頻度(1/100)
■	低頻度(1/150)
■	想定最大規模
---	市町村界
■	河川等範囲
■	浸水想定区域の指定の 対象となる洪水予報河川

1. 説明文
- この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深50cm(床上浸水相当)以上)を示した図面です。
  - この水害リスクマップは、現況の庄川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)、年超過確率1/150(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)の降雨に伴う洪水により庄川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
  - このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和40年9月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
  - 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
2. 基本事項等
- 公表年月日 令和4年12月13日
  - 作成主体及び対象となる河川 国土交通省北陸地方整備局  
・富山河川国道事務所：庄川水系庄川
  - 実施区間  
【富山河川国道事務所】  
・庄川  
富山県砺波市庄川町大字屋宇小川原921番地先の庄川用水合口堰堤から海まで
  - 算出の前提となる降雨  
・年超過確率1/10(庄川流域の2日間の総雨量229mm)  
・年超過確率1/30(庄川流域の2日間の総雨量264mm)  
・年超過確率1/50(庄川流域の2日間の総雨量311mm)  
・年超過確率1/100(庄川流域の2日間の総雨量345mm)  
・年超過確率1/150(庄川流域の2日間の総雨量368mm)
  - 河道条件：現況
  - 関係市町村 富山市、高岡市、射水市、砺波市、南砺市、小矢部市  
※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R4Jhs396」)